平成19(2007)年度前期「論理学」(水 1時限)追試験問題

下記の問題１～４を解き，レポートとして提出（下記へ郵送）してください．
用紙はB4かA4とし，問題番号，学部・学科・学生番号・氏名を明記すること．

問題１　次の命題の性質（恒真・恒偽・偶然的）を真理表によって判定しなさい．

(p∨q)⊃(～r∧p)

問題２　次の推論を記号化した上で，妥当であるか否かを真理表の方法によって判定しなさい．
妥当でない場合については，そのときの要素命題の真理値を明記すること．

私はテニスをすれば，ストレスが発散する．
私はテニスをすれば，関節を痛める．
∴私は関節を痛めなければ，ストレスは発散しない．

問題３　(1)ポーランド系記号で記述された次の論理式を５つの論理結合子(～，∧，∨，⊃，≡)で表現し，
(2)それを真理値分析の方法によって，恒真・恒偽・偶然的かを判定しなさい．

CCApqrCpr

問題４　次の命題を述語論理によって記号化しなさい（与えられた記号を用いること）．

1) ある学生はアラビア語ができる．
F：～は学生である．　G：～はアラビア語ができる．

2) どんな本もためになる，というわけではない．
F：～は本である．　G：～はためになる．

提出先：郵便番号 739-8522　東広島市鏡山1-2-3
広島大学大学院文学研究科／応用倫理・哲学講座　赤井清晃

提出期限：2007年8月16日午前中　必着

参照 URL
http://home.hiroshima-u.ac.jp/akyah59/
http://home.hiroshima-u.ac.jp/akyah59/index2.shtml